



あいさつにはどんな意味が込められていますか？

3年海洋スポーツ体験

8月26日、3学年では海洋スポーツ体験を実施しました。当日は地域の豊かな海を舞台に活動し、生徒たちは海と直接ふれあいながら海洋スポーツの楽しさを存分に味わうことができました。

体験を通して、生徒からは「海の上から見る景色が新鮮だった」「初めての体験でとても楽しかった」「次は山にも登ってみたい」などの感想が聞かれました。身近にある海であっても、新たな視点から見ることで多くの発見があり、地域の自然環境の素晴らしさを改めて実感する機会となりました。またサップ体験等を通して、三瀬の海の魅力を広げたいという講師の方々のお話を聞くこともできました。

今後も海岸清掃活動やSDGs学習と関連付けながら、海洋環境の保全や地域住民の一員として「海との共生」について学びを深めていきます。



運動会軍別集会

運動会本番が近づく中、27日に競技種目の選手決めを行いました。白軍・紅軍それぞれの特色や雰囲気も少しずつ表れ始めています。

3年生の幹部には、運動会を通して「どのような成果を生み出したいのか」というビジョンを大切にしてほしいと考えています。もちろん勝利を目指して努力することは大切ですが、それだけではなく、「行事の楽しさを全校生徒に伝えたい」「仲間と本気で取り組むことの面白さを感じてほしい」など、さまざまな思いがあるはずです。

そのような目標や思いをもって取り組むことで、日々の練習や活動の価値はさらに高まります。また高まりは、日常の生活の質にも還元されていきます。運動会当日の成果だけでなく、その過程で何を学び、どのような集団をつくり上げたいのかを各軍で共有しながら、充実した運動会を創り上げてほしいと思います。

式辞に先立ち、熊本地震により尊い命を失われた方々に心から哀悼の意を表するとともに、今なお不自由な生活を余儀なくされている皆様にお見舞い申し上げます。私たちも日常を大切に、支え合うことの尊さを改めて考えていきたいと思っています。

約 1 か月にわたる夏季休業も終わり、一年で最も成長が感じられる 2 学期が今日からスタートします。夏休み前の終業式では、

「生活習慣を崩さず、自分自身と向き合う時間をつくること」

「新しい経験をする」「たくさんの人と関わる」「自分の考えや感じたことを少しずつ更新すること」という 4 つの願いをしました。

みなさんにとって、どのような夏休みだったでしょうか。また終業式では、

「自分と集団との関わりは、自分の言動を映す鏡です。まいた種は、自分で収穫することになります。みなさんは、これからどんな種をまいていきますか。」

という話もしました。この夏の経験を通して、何らかのアップデートをした自分で、2 学期をスタートしてほしいと思います。

さて、2 学期は行事で成長する学期です。しかし、行事は日常の延長線上にあることをしっかり認識してもらいたいと思います。

行事は本番だけが大切なわけではありません。そこに至るまでの準備や積み重ねこそが大切です。充実感のある行事は、日常の行動や活動の集大成です。行事の中で自分を成長させたいのであれば、まず日常を大切にしてください。

その日常において、みなさんに大切にしてほしいことが二つあります。

一つ目は、「伝える」ということです。

相手に伝えるためには、自分が話すだけでなく、相手の立場や気持ちを考えることが大切です。

「こんなに言ったのに伝わらない」「全然わかってくれない」と感じることもあるかもしれません。しかし、それは会話をしているつもりでも、一方通行の発表になっているからかもしれません。相手に伝えるためには、まず相手を理解しようとする必要があります。そのために大切なのが「傾聴」です。相手の話をしっかり聞き、考えや思いを受け止めること。その積み重ねが、本当の意味での対話につながります。この後の学年代表のみなさんの発表も、そのような気持ちで聞いてほしいと思います。

二つ目は、「自責と他責」についてです。

何かうまくいかなかったとき、人はつい環境や周囲の人のせいにしたくなります。しかし、自分で判断し主体的に行動する人は、「自分には何ができただろう」「次はどう改善しよう」と考えます。

もちろん、すべてを一人で背負う必要はありません。困ったときや苦しいときには、周りに助けを求めてください。弱音を吐くことや相談することは、決して弱さではありません。むしろ、自分の状況を正しく見つめ、前に進もうとする強さだと思います。

私は、豊浦中学校が、本音を語れる学校、弱音を吐ける学校であってほしいと思っています。

つらい時に「大丈夫です」と無理をする集団よりも、「少し困っています」「手伝ってください」と言える集団の方が強いのです。そして、その声に対して「一緒にやろう」「大丈夫だよ」と応えられる仲間がいる集団は、さらに強い集団です。

本音や弱音を安心して話せる関係があるからこそ、人は思い切って高い目標に挑戦することができます。失敗を恐れず挑戦できるのも、支えてくれる仲間がいるからです。

2 学期は運動会や文化の集い等、さまざまな行事があります。ぜひ、一人一人が高い目標を掲げ、その実現に向かって挑戦してください。そして、その過程で仲間を支え、また仲間に支えてもらってください。「弱音を吐けることは弱さではなく強さ」「本音を話せる関係があるから高い目標に挑戦できる」という意味を大切にしながら挑戦してもらいたいと感じます。

互いを認め合い、励まし合い、本音や弱音も受け止め合える集団が、最終的には大きな成果を生み出します。

みなさん一人一人の成長と、豊浦中学校全体のさらなる成長を期待して、2 学期始業式の式辞とします。